

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名

: 全鉄測定試薬 Fe-A

AT000010

会社名

: 株式会社東洋製作所

住所

: 千葉県柏市高田 1335

担当部署

: 柏工場 品質管理課

電話番号

: 04-7143-2003

FAX 番号

: 04-7143-0684

緊急連絡電話番号

: 上記担当部署

推奨用途及び使用上の制限

: 全鉄測定



2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

: 急性毒性（経口） 区分 5

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1

呼吸器感作性 区分 1

標的臓器/全身毒性（単回暴露） 区分 1(呼吸器系)

標的臓器/全身毒性（反復暴露） 区分 1(歯、呼吸器系)

ラベル要素



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 飲み込むと有害。

吸入すると生命に危険（気体、蒸気およびミスト）。

重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷。

重篤な眼の損傷。

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。
臓器の障害。

長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。

水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

: 環境への放出を避けること。

安全対策

煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は、汚染か所をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

応急処置

- : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。
- 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- 皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
- 水で数分間注意深く洗うこと。
- コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- その後も洗浄を続けること。
- 口をすすぐこと。
- 無理に吐かせないこと。
- 直ちに医師に連絡すること。

3. 組成、成分情報

单一物質・混合物の区分
物質

: 化学物質

成分及び含有量

: 塩化水素 10%含有水溶液

化学式または構造式

HCl

C A S 番号

7647-01-0

官報公示整理番号
(化審法・安衛法)

化審法 1-215

4. 応急措置

吸入した場合

- : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- 皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。

眼に入った場合

- : 水で数分間注意深く洗うこと。
- コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

- : 口をすすぐこと。
- 無理に吐かせないこと。
- 直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

: 周辺設備に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性

: 燃焼の際に有毒な塩化水素を生成する。

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒および／または腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釀水が汚染を引き起こすおそれがある。

本製品は不燃性であるが、加熱されると有毒な塩化水素ガスを発生する。

: 関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

: 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

- : 関係者以外は近づけない。
- : 回収が終わるまで充分な換気を行う。
- : 適切な保護具を着用する。
- : 上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
- : 不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
- : 漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

技術的対策

- : 煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- : 煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

局所排気・全体換気

- : 排気、換気設備を設ける。

注意事項

- : 皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。

安全な取扱い注意事項

: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染か所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

保管

適切な保管条件

- : 換気の良い場所で保管すること。

容器に密閉しておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

- : 設定されていない。

許容濃度

: (最大値) 2ppm ; 3.0mg/m³。

: 上限値 2ppm (上気道刺激)。

設備対策

: 適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い、洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具

- : 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- : 保護手袋を着用する。

眼の保護具

- : 保護眼鏡、顔面保護具を着用する。

衛生対策

- : 取扱い後は汚染か所よく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など

以下に記載のない項目は、データなし。

: 無色透明の液体。

臭い

: 刺激臭。

pH

: 強酸性。

沸点、初留点と沸騰範囲

: 108°C

溶解度

: 水に混和する。

10. 安定性及び反応性

安定性

: 通常の保管条件、取扱い条件において安定である。

加熱により塩化水素ガスが発生する。

危険有害反応可能性

: 塩基と激しく反応し、腐食性を示す。

酸化剤と激しく反応し、有毒なガスを生成する。

多くの金属を侵し、可燃性の気体を生成する。

避けるべき条件

: 混触危険性物質との接触。

裸火、加熱。

混触危険物質

: 強塩基、酸化性物質、還元性物質、金属類。

可燃性物質。

危険有害な分解生成物

: 塩素、塩化水素、水素。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）

: 区分5。

以下データより、塩酸（塩化水素37%含有水溶液）として区分4であり、本製品の塩化水素含有量は10%であることから、本製品の推定急性経口毒性値LD₅₀は、2380mg/kgと推定されるため、区分5とした。

[日本公表根拠データ]

rat LD₅₀= 283mg/kg (SIDS, 2009) 塩化水素含有量37%として計算して得られた製品推定LD₅₀値= 643mg/kgにより区分4に分類。

: 区分4。

以下データより、塩酸（塩化水素37%含有水溶液）として区分4であり、本製品の塩化水素含有量は10%であることから、本製品の推定急性吸入毒性値LC₅₀は、4.2mg/L/4hrと推定されるため、区分4とした。

[日本公表根拠データ]

mist:rat LC₅₀= 0.42mg/L/4hr (SIDS, 2009) 塩化水素含有量37%として計算して得られた製品推定LC₅₀値= 1.135mg/L/4hrにより区分4に分類。

: 区分1。

以下データより、塩酸（塩化水素37%含有水溶液）として区分1Bであり、本製品の塩化水素含有量は10%であることから、区分1とした。

[日本公表根拠データ]

ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)。

: 区分1。

以下データより、塩酸（塩化水素37%含有水溶液）として区分1であり、本製品の塩化水素含有量は10%であることから、区分1とした。

[日本公表根拠データ]

ラビット 腐食性 (SIDS, 2002)。

: 区分1。

以下データより、塩酸（塩化水素37%含有水溶液）として区分1であり、本製品の塩化水素含有量は10%であることから、区分1とした。

	[日本公表根拠データ] Cat. 1 ; 日本職業・環境アレルギー学会。
皮膚感作性	: 分類できない。
生殖細胞変異原性	: 分類できない。
発がん性	: 分類できない。
催奇形性	: 分類できない。
生殖毒性	: 分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分1。 以下データより、塩酸（塩化水素37%含有水溶液）として区分1であり、本製品の塩化水素含有量は10%であることから、区分1とした。
	[日本公表根拠データ] 呼吸器系 (ACGIH, 2003)。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分1。 以下データより、塩酸（塩化水素37%含有水溶液）として区分1であり、本製品の塩化水素含有量は10%であることから、区分1とした。
	[日本公表根拠データ] 歯、呼吸器系 (SIDS, 2002)。
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生毒性	: 水生生物に非常に強い毒性。 (急性) [日本公表根拠データ] 甲殻類（オオミジンコ）EC50=0.492mg/L/48hr (SIDS, 2005)。
水溶解度	: 67g/100mL (30°C) (ICSC, 2000)。
残留性/分解性	: データなし。
生体蓄積性	: Log Pow=0.25 (ICSC, 2000)。
土壤中の移動性	: データなし。
オゾン層有害性	: データなし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 環境への放出を避けること。 内容物、容器を地方、国の規則に従って廃棄すること。 廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治公共団体がその処理を行っている場合にはそこに依頼して処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国連分類および国連番号	: 1789。
危険物分類	: 8。

容器等級 : II。
 指針番号 : 157。
 特別規定番号 : A3 ; A803。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康、および
環境に関する規則／法令

毒物及び劇物取締法 : 効物（第2条別表2）。
 塩化水素。

労働安全衛生法 : 特化則 特定化学物質 第3類。
 塩化水素。
 有機溶剤等に該当しない製品。
 名称表示危険、有害物（令18条）。
 塩化水素。
 名称通知危険、有害物（第57条の2、令第18条の2別表9）。
 塩化水素。
 腐食性液体（規則第326条）。
 塩化水素。

化学物質管理促進（PRTR）法 : 該当しない。

消防法 : 危険物の規制に関する政令別表第2：効物（届出数量200kg）。
 塩化水素。

化審法 : 該当しない。

大気汚染防止法 : ばい煙 有害物質（政令第1条）。
 塩化水素。
 特定物質（政令第10条）。
 塩化水素。

船舶安全法 : 腐食性物質 分類8。

航空法 : 腐食性物質 分類8。

水質汚濁防止法 : 指定物質。
 塩化水素。

16. その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害等に関して、保証をするものではありません。

また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、安全性を確認してからご利用ください。